TAKATSU NETWORK

医療法人 社団　亮正会　総合高津中央病院
川崎市高津区溝口1-16-7　TEL 044-822-6121
http://www.takatsuhosp.or.jp

新 高津中央病院だより

(財)日本医療機能評価機構認定病院　2011年◆冬号(2011年12月発行)　Vol.35

季節の写真館

溝口の冬景色

総合高津中央病院 理念・基本方針

理念

医療を通じて地域社会に貢献します

基本方針

1. 地域の皆様に愛される病院、親切、迅速、奉仕について最善の努力をします
1. たゆみない研鑽と医道の高揚に努め、安全で質の高い開かれた医療の提供をめざします
1. 地域の救急医療に全力で対応します
1. 保健、福祉の全面的な支援を行います

巻頭言

創立55周年を迎えて

病院長　山中 郁男

当院は、初代院長加藤守正先生が昭和31年12月に高津外科医院として開設以来、おかげさまで創立55周年の記念日を迎えさせて頂きました。

私は平成16年に、４代目病院長に就任以来、病院基本理念「医療を通じて地域社会に貢献する」の具現化を進めるべく、及ばずながら病院の仲間と共に歩んでまいりました。

相変わらず厳しい社会、医療環境が続く中、また、２号館（外来棟）完成、新型インフルエンザ騒動、３月大震災発生以降の慌ただしい日常業務対応等を経て、この大きな節目を無事迎えることが出来ましたことは誠に嬉しい限りです。

当院の周辺環境は、近隣３区（宮前、多摩、中原）と高津区合計で人口が約85万人（川崎市全人口の60％）、川崎市人口140万は全国７位で世帯数増加率も大都市中１位。その中でも高津区（10.8％）がトップで、人口分布20～40代が多く出生率も高いという状況に大きく変化しております。

私は、この55周年の節目を迎えることが出来たことは、医療人として大変な栄誉であり、地域の皆様からの大きな信頼の証であると自負し確信しております。

当院は、この歴史を誇りとし、地域医療体制の担い手として、**感謝・希望・自信**を持ってさらに新しい歴史を作り、社会に貢献するために一層前進したいと考えます。

何卒、今後とも引き続きご支援ご指導をお願い申し上げます。

ドクター紹介

新任です!!
よろしくお願いします!!!

名　前	鈴木　邦彦
卒業大学	埼玉医科大学
卒業年度	平成13年度
専門領域	外傷一般
資 格 等	産業医
自己紹介	整形外科メンバーとして一生懸命がんばります。よろしくお願いいたします。

高津中央インフォメーション

＊PACS導入しました＊

放射線科　医長　奥山孝男

当院でもPACSの導入を行い、11月よりフィルムレス運用をスタートいたしました。

導入メリットとしては、撮影後すぐにPACSの端末で、様々な機能を使用し画像が参照できるため、作業効率の向上、患者様の待ち時間の低減が図れます。また、各外来、病棟でのフィルムの管理、移動が必要なくなるため、保管スペースと人的な効率化を期待できることがあげられます。フィルムという消耗品がなくなりますので、エコロジーなシステムと言えます。

今回のPACSには、CT、MRI、一般撮影、透視撮影、血管造影を接続させて画像をファイリングしております。私の読影レポートもPACSにより効率的に作成出来るようになり、読影完了後すぐに端末に表示することが可能になりました。紹介患者様へのフィルムの貸し出しは、フィルムがなくなりますので、患者様に重たいフィルムを運んで頂くのではなく、CD-RにPDIという形式で画像と簡易ビューワを焼き込んでお渡しすることになります。

今までとは、多くの運用の変更があり、戸惑いもあるとは思いますが、改善を重ね使い易いシステムに発展させていきたいと思っております。

今後とも、ご協力をよろしくお願いいたします。

※PACS（Picture Archiving and Communication System）
→医用画像データを院内画像サーバーで管理し、ネットワーク上でやりとりするシステム。
※PDI（Portable Data for Imaging）
→可搬媒体（リムーバブルメディア）を用いて、DICOM画像データを交換するための規格。一般的にDICOM画像に簡易DICOMビューワがついた保存形式。

『患者満足度調査』＜外来編＞概要のご報告

【調査委託機関報告を抜粋】

当院は創立55周年を迎え、病院サービスのいっそうの向上を目指すため外来・退院患者さまへの直接アンケートを実施、外部機関に回収・結果分析を委託しました。頂戴した暖かい言葉、厳しいご意見などを病院全体で受け止め、今後の病院作りのために十二分に検討、反映させて頂くこととしました。

＜実施方法＞外来患者様に会計終了後アンケート協力依頼、帰宅後に記入、投函頂きました。
＜実施期間＞平成23年8月8日（月）～13日（土）
＜回収状況＞配付数／1,200　有効回収／435
有効回収率／36.3%

《まとめ》
施設の改修によるハード面の評価向上にとどまらず、人的対応や会計、診察の待ち時間などソフト面でも評価が高まっています。

1．患者さまの属性について ➡ 更なる高齢化の進展が見られる

- 性別の構成比は“男性”37.7%、“女性”60.2%と、女性が多い構成比に変化は見られません。
- **60歳以上の高齢者が増え**（前々回34.5%→前回41.8%→今回**50.2%**）、更なる高齢化の進展が見られます。
- “10年以上前”の古くからのリピータが回を重ねるごとに増えており（29.5%→36.2%→**42.1%**）、信頼度の高さがうかがわれます。
- 当院を選択した理由としては、“自宅や職場・学校などに近い”（67.6%）といった地理的な利便性の良さが今回も突出してトップに。また、今回は“設備や機器が充実している”（前回8.9%→今回**16.3%**）と“建物などが明るくて清潔”（2.3%→**12.4%**）の比率が大幅に増えました。

2．施設・設備について ➡ 売店を除き全ての項目の評価アップ！

●「売店・レストラン」を除く全ての項目が前回より高い評価となりました。駐車場の平均点は“ふつう”を下回り改善・向上の余地あり。

3．受付・会計について ➡ 前回より全般的に評価上がる！

●「受付時の手続き」「会計の領収書や明細の分かりやすさ」「職員の対応」については、**いずれも前回より高い評価**となりました。

●会計の待ち時間については現状を受容される方（“短い”“やや短い”“ふつう”）が８割弱を占めており、今回も大きな問題とはなっていないようです。また、前回よりも統計的に見て高い評価となりました。

4．診察について ➡ 前回より全般的に評価上がる！

●回を重ねるごとに30分超の**待ち時間**が減り、現状を受容される方（“短い”“やや短い”“ふつう”）が６割を超えるなど、改善が認められます。
ただし、３割以上の方が“長すぎる”“やや長い”と感じており、引き続き課題の一つと位置付け、30分超の待ち時間の短縮を図るとともに、待ちの現状の声かけ、工夫などの取り組みを行って下さい。“清潔さ”（16.9%）と“部屋の明るさ”（11.1%）は比率は低いものの１割を超え上位に挙げられています。

●**看護師**については前回より高い評価となりました。患者さんの視点に立ったケアを心がけ、より多くの方が満足感を得られるような看護を引き続き目指してください。

●**医師**については、「技術」「対応」「説明」のいずれも４ポイント超の平均点となり、前回より高い評価となりました。診察時に詳しく説明してほしい点として上位にあげられた事柄を中心に、簡潔で分かりやすい説明を心がけ、インフォームドコンセントなどへの取り組みを更に充実させていってください。

●**診察の総合評価**は前回より高い評価となりました。

5．検査について ➡ 待ち時間、職員とも前回と同様の評価

●検査を受けた方は全体の40.7%（前回35.4%）を占めており、内訳は“血液”が41.2%と今回も最も多く、“レントゲン”（29.4%）、“尿”（22.0%）心電図、エコー、CT、MRI、胃カメラの順。

●**検査の待ち時間**は、現状を受容される方（“短い”“やや短い”“ふつう”）が今回も７割を超えており、大きな問題とはなっていないようです。

6．当院への要望について ➡ 比率は低下するものの待ち時間短縮が依然トップ！

●回を重ねるごとに比率は下がるものの**“待ち時間をもっと短くしてほしい”（66.9%→51.1%→35.6%）が依然としてトップ**に挙げられています。

●過去の調査で上位の、「待合室を明るく、快適に」は大幅に比率を下げました。（25.8%→24.8%→2.5%）

7．総合的な評価について

➡ 全体としては概ね良好だが、更なる継続的改善を！

●「当院を利用しての満足度」「将来の再来意向」「知人への紹介意向」については、いずれも前回よりも高い評価および肯定的意見となっています。
患者さまの視点（患者さんからのコメントも参考に）から現状のサービスを見直して、改善できるところから着実に、組織としてはもちろんのこと、各自が主体的に取り組んでいってください。

アンケート回収中

高津中央トピックス

薬剤部責任者に就任しました

薬剤部　　向山　雅士

この12月より宮崎部長の後任として、薬剤部の責任者に就任いたしました。若輩ながら、創立55周年の節目に当院の医薬品安全管理責任者の大役を任命されたことは身に余る光栄であると共に責任の重大さに身の引き締まる思いです。

私は、薬剤師活動の基本理念は『ファーマシューティカルケア（患者様のQOL＜生活の質＞を改善するために明確な結果を示す薬物治療を責任をもって遂行する）を実践することである』との信念で日常業務に取り組んでおります。患者様の価値観に基づいた薬物治療の推進と安全を医師、薬剤師、看護師と連携のもと提供できるよう努めてまいります。

そのために、薬剤部の仲間と共に専門性を高め、患者様中心の意識を更に強く持って業務対応すると共に、これまで以上に各部署とのコミュニケーションを強化、チーム医療推進に関わり安全で安心な診療体制の一端を担う所存です。

何卒、前任者同様、格別のご指導ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

『秋季防災訓練』を開催しました

防災対策委員会

秋季訓練は、直下型の大規模地震発生を想定し各種訓練を実施してきましたが、3月11日東日本大震災の発生以来、防災対策全般の大幅見直しを検討しました。

今回の秋季訓練実施については、残念ながら「入院患者様の避難誘導訓練」は日程の都合で未実施でしたが、従来の①『防災準備チェックリスト』にもとづく防災体制のチェック実施②『地域避難場所への誘導訓練』③緊急事態に備えた『職員招集訓練』を10月31日、11月2日に実施しました。

また、3月以降の経験を踏まえ『防災マニュアル』の全面改訂も行いました。

上：職員招集訓練
右：地域避難場所誘導訓練

個人情報保護方針

情報社会において、個人情報の保護は非常に重要な課題です。
総合高津中央病院では、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考え、個人情報保護に関する方針を以下のとおり定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

① 個人情報の収集・利用・提供

個人情報の保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の収集、利用および提供に関する内部規則を定め、これを遵守します。

② 個人情報の安全対策

個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などに関する万全の予防措置を講ずることにより、個人情報の安全性・正確性の確保を図り、万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。

③ 個人情報に関する法令・規範の遵守

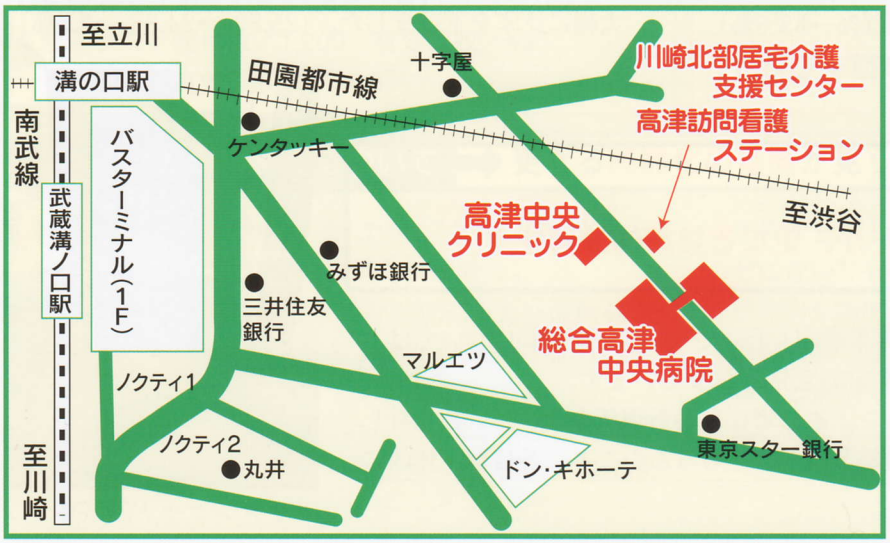
個人情報に関する法令およびその他の規範を遵守します。

④ 教育および継続的改善

個人情報保護体制を適切に維持するため、職員の教育・研修を徹底し、内部規則を継続的に見直し、改善します。

⑤ 診療情報の提供・開示

診療情報の提供・開示に関しては、別に定めます。



▶ **総合高津中央病院**
川崎市高津区溝口1-16-7
TEL（044）822-6121（代）
http://www.takatsuhosp.or.jp

▶ **高津中央クリニック**（健診）
川崎市高津区溝口1-16-3
TEL（044）822-1278（代）
http://www.takatsuhosp.or.jp/clinic/

▶ **川崎北部居宅介護支援センター**
川崎市高津区溝口1-17-5
TEL（044）822-6159（代）

▶ **高津訪問看護ステーション**
川崎市高津区溝口1-17-1
TEL（044）822-1287（代）

発行：総合高津中央病院・広報委員会